

事務事業名	志布志市社会福祉大会事業		重点プロジェクト	2 やすらぎのまちづくりプラン				
まちづくり方針(政策)	振興計画体系	4 <保健・医療・福祉>「心」かよい合い若さあふれる元気なまち	過疎施策区分	頁 事業主体 市				
個別目標(施策)			本庁支所	松山支所	電話・内線	487-2111・271		
施策(基本事業)	3 地域福祉の充実	4 地域が支え合い思いやりのあるまちをつくる	課名	総務市民課	課長名	今井 善文		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成18 年度)	期間限定複数年度 ( ~ 年度)	係名	福祉係	担当者名	上原 健太郎		
	法令根拠		志布志市補助金交付規則					
予算科目			会計	款	項	目	事業	予算上の事業名
			1	3	1	1	69000	社会福祉総務費
主な費目			負担金補助及び交付金					

優先度評価結果(当初予算編成反映)

成果優先度

⑤

コスト優先度

⑦

事業内容	<p>社会福祉協議会の実施する社会福祉大会のアトラクションに係る経費及び講演会の講師謝金に係る経費を補助する。 他に、福祉大会の内容として、市民への福祉の啓発及び社会福祉に貢献のあった方々の表彰や児童生徒に福祉に対する作文・絵画を募集・表彰を行い、広く社会福祉の啓発を図る。</p>	業務の流れ	<p>・補助金申請書の受付 → 審査 → 補助金交付決定通知 → 補助金前払い申請書の受付 → 審査 → 補助金前払決定 → 実績報告書受付 → 審査 → 補助金交付確定通知</p> <p>・支出事務</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段 29年度実績(29年度に行った主な活動)

社会福祉大会の実施

30年度計画(30年度に計画している主な活動)

前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

市民

(補助金の交付先) 社会福祉協議会

③ 意図(この事業によって(対象)がどのような状態になるのか)

地域福祉に興味を持つ

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)

障害者、高齢者(65歳以上)、生活困窮者等、支援を必要とする方々が、地域社会の中で、その人らしく生活できるように地域全体で支え合う。

名称	単位
(数字は記入しない)	
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
ア 補助金額	千円
イ 社会福祉大会の実施回数	回
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
ア 人口	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
ア 社会福祉大会参加者	人
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)	
ア	
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	全体計画 ~ 年度
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(目標・予算)	(目標・予算)	
事業費	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	4	4	4	4	4	4	
	人件費計(B)	千円	15	15	15	15	15	15	
	(A) + (B)	千円	15	15	15	15	15	15	

指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	振興計画 目標数値
活動指標	千円 回	180 1	170 1	170 1	170 1	170 1	170 1	年度
対象指標	人	33,200	32,093	32,100	32,100	32,100	32,100	
成果指標	人	600	600	600	600	600	600	
上位成果指標								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市民への福祉に対する啓発を目的とし、旧志布志町、旧松山町、旧有明町にて以前からそれぞれ開催されていた。合併後においても市の社会福祉大会として継続している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

合併後においては事業内容に変化はない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特に意見や要望は出ていない。

2 評価の部(SEE) ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】	社会福祉の更なる向上を図る上で功労者の表彰等を行っており、市民の福祉活動向上に寄与していると考えられる。	担当者による評価
	② 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】	本市の社会福祉功労者への表彰をすることで社会福祉の更なる向上を図ることができ、また福祉作文、福祉絵画を通して児童生徒への福祉活動の啓発につながっている。	3
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】	対象は参加できる市民全員であるため、限定も追加もできない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がある【↓ 原因】	より市民に向けて、社会福祉協議会が広報・周知すべきである。現行では福祉関連団体への参加呼びかけが多いが、福祉関係以外にも参加を呼び掛けたりすることで成果の向上も望むことが期待できる。	有効性
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【↓ その内容】 <input type="checkbox"/> 影響無【↓ 理由】	市として社会福祉功労者に表彰する機会はこの大会だけであるため影響は有ると考えられる。	3
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携により、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある【↓ 具体的な手段】 社会福祉大会を現在統合できるような事業が想定できないが、表彰等については県でも社会福祉功労者として表彰している。 他に手段がある場合のみ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 既に連携しており、これ以上連携する余地はない【↓ 連携の現状】	県と市の表彰者が重複しないようそれぞれで表彰する工夫はできると考えられる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】	表彰者に対する記念品等の予算を削減することで事業費の削減はできると考えられる。	効率性
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】	市では、補助規則に従って事務を行う以外には特に関与していないためこれ以上の人件費削減は望めない。	3
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】	大会では市民のみならず、市外民の参加も可能であるため公平・公正である。	公平性
アクション プラン	⑩ アクションプランとの関連性 アクションプランに掲げた改革項目に基づき事業の内容を見直し余地がないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する項目はない <input type="checkbox"/> 関連する項目がある【↓ 改革項目名】 関連する項目がある場合 <input type="checkbox"/> 適切である【↓ 内容】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 内容】		評価結果
				5 非常に高い 4 高い 3 標準 2 やや低い 1 低い

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)		
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
⑤ 改革プランとの関連 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大会自体は福祉活動の啓発に一定の効果があると考えられる。内容について毎年大きな変更はない状況であり、参加者もほぼ毎年変わりはない状況である。今後継続していかなければ事業ではあるが事業内容を毎年検討する必要があると考えられる。			
(3) 今後の事業の方向性 ...複数選択可		・改革改善案		
<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通り)		→ 事業費の一部である表彰者への記念品等について単価の検討を行うことで経費削減の効果が期待できる。また、毎年のテーマを考え、そのテーマに沿った内容にしていすることで変化を与えることができ参加者を増やすことができると考えられる。		
(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		
成果	向上	削減	維持	増加
	維持	○		×
	低下		×	×
事業費削減についてはすぐに対応できると思われるが、毎年テーマを考えることに時間がかかることが課題だと考えられる。				

事務事業名		ふれあいサロン活動事業		重点プロジェクト	2 やすらぎのまちづくりプラン					
まちづくり方針(政策)		4 <保健・医療・福祉>「心」かよい合い若さあふれる元気なまち		過疎施策区分			頁	事業主体	市	
個別目標(施策)		4 地域が支え合い思いやりのあるまちをつくる		本庁支所	松山支所		電話・内線	487-2111・271		
施策(基本事業)		1 高齢者福祉の充実		課名	総務市民課		課長名	今井 善文		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		係名	福祉係		担当者名	上原 健太郎		
優先度評価結果(当初予算編成反映)				法令根拠	志布志市補助金交付規則					
				予算科目	会計	款	項	目	事業	予算上の事業名
				主な費目	1	3	1	4	94000	老人福祉費
				成果優先度 ① コスト優先度 ⑫						
事業内容	高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないように、地域に密着した形で生きがいをもって、安心して生活ができるようにするため健康増進の活動の場「ふれあいサロン」を開設し、孤独感の解消や心身の機能低下を防止することを目的とし、実施主体の社会福祉協議会に補助金を交付する。「ふれあいサロン」は、地域の高齢者の方々が、気楽に立ち寄れる「地域の集いの場」として無理なく楽しい仲間づくりをし、ボランティアの方が中心となって定期的に運営している。			業務の流れ	市役所と社会福祉協議会との関係 ・補助金申請 → 審査 → 補助金交付決定通知 → 補助金前金払い申請 → 審査 → 補助金前金払決定 → 実績報告書提出 → 審査 → 補助金交付確定通知 ・支出事務					
1 現状把握の部(DO)										
(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(29年度実績(29年度に行った主な活動))										
有明地区15地区、松山地区16地区、志布志地区35地区の合計66地区でサロン活動を実施					名称 (単位は記入しない)					
30年度計画(30年度に計画している主な活動)					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
地域の集いの場としての活動の充実。					ア 補助金額 千円					
					イ ふれあいサロン実施箇所 箇所					
					ウ					
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等										
高齢者(補助金交付先)社会福祉協議会					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					ア 高齢者数 人					
					イ					
					ウ					
③ 意図(この事業によって(対象)がどのような状態になるのか)										
サロンに参加することで生きがいを見いだせる					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					ア ふれあいサロン実施回数 回					
					イ ふれあいサロンの参加者数(延べ) 人					
					ウ					
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)										
障害者、高齢者(65歳以上)、生活困窮者等、支援を必要とする方々が、地域社会の中で、その人らしく生活できるように地域全体で支え合う。					⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)					
					ア 生きがいを感じる社会参画を行っている高齢者の割合 %					
					イ 高齢者団体に参加している人 人					
					ウ					
(2) 総事業費・指標等の推移										
年間トータルコスト	財源内訳	単位	27年度(実績・決算)	28年度(実績・決算)	29年度(実績・決算)	30年度(計画・予算)	31年度(目標・予算)	32年度(目標・予算)	全体計画 ~ 年度	
事業費	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	0		0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	振興計画目標数値 年度	
	延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0		
	(A) + (B)	千円	0	0	0	0	0	0		
活動指標	ア	千円	3,041	3,041	2,989	3,102	3,102	3,102	振興計画目標数値 年度	
	イ	箇所	57	63	70	70	70	70		
	ウ									
対象指標	ア	人	10,489	10,647	10,600	10,600	10,600	10,600		
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	回	516	720	800	800	800	800		
	イ	人	6,235	7,703	7,900	7,900	7,900	7,900		
	ウ									
上位成果指標	ア	%	0.59	0.72	0.75	0.75	0.75	0.75		
	イ	人	1,807	1,734	1,700	1,700	1,700	1,700		
	ウ									
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等										
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?										
旧町時代から旧松山及び旧有明社会福祉協議会が自主的に取り組んでいたサロン活動を市内全域に広げるために、実施主体の志布志市社会福祉協議会にその活動費として補助金を交付している。										
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?										
介護保険制度が開始になり地域で行われていたデイサービスも対象者が限定され、家に閉じこもりがちの高齢者が地域で日常的に集まり楽しい時を過ごす場がなくなってきていたため、地域のボランティアが中心となって「ふれあいサロン」を運営し、高齢者の活動の場を提供している。										
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?										
特に意見や要望は出ていない。										



2 評価の部(SEE) ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	担当者による 評価  目的妥当性
	② 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【↓ 原因】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	有効性
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【↓ その内容】 <input type="checkbox"/> 影響無【↓ 理由】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	4
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある【↓ 具体的な手段】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携により、成果の向上が期待できるか？	4
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	効率性
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	3
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	公平性
アクション プラン	⑩ アクションプランとの関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する項目はない <input type="checkbox"/> 関連する項目がある【↓ 改革項目名】 アクションプランに掲げた改革項目に基づき事業の内容を見直す余地がないか？	評価結果
			5 非常に高い 4 高い 3 標準 2 やや低い 1 低い

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⑤ 改革プランとの関連性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎年、少ないながらもふれあいサロン活動地区も増えてきており市内にこの事業の目的が浸透しつつあると考えられる。今後も継続することによって、今後増加すると見込まれる単身での高齢者にとって生きがいの場を居住地の近隣で提供することができると考えられる。													
(3) 今後の事業の方向性 ……複数選択可	・改革改善案													
<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)      改革改善案 → <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)      を記載 → <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)      → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通り)	地域の高齢者等の活動の場として、活動地区を増やすことが地域福祉の充実につながると考えられる。													
(4) 改革・改善による期待成果	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策													
(廃止・休止の場合は記入不要)														
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
成果		向上												
		維持		○	×									
	低下		×	×										

事務事業名	志布志市単位老人クラブ・老人クラブ連合会運営事業		重点プロジェクト	2 やすらぎのまちづくりプラン	
まちづくり方針(政策)	振興計画体系	4 <保健・医療・福祉>「心」かよい合い若さあふれる元気なまち	過疎施策区分	頁 事業主体 市	
個別目標(施策)			本庁支所	松山支所	電話・内線
施策(基本事業)	1 高齢者福祉の充実	4 地域が支え合い思いやりのあるまちをつくる	課名	総務市民課	課長名 今井 善文
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度)	1 高齢者福祉の充実	係名	福祉係	担当者名 上原 健太郎
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	志布志市補助金交付規則	
			予算科目	会計 1 3 1 4	事業 94000 予算上の事業名 老人福祉費
			主な費目	負担金補助及び交付金	

優先度評価結果(当初予算編成反映)

成果優先度

③

コスト優先度

⑩

事業内容	高齢者の相互の融和と親睦、そして地域と交流を図るとともに、自らの健康の増進を図っている老人クラブの運営費として、市老人クラブ連合会と単位老人クラブへ補助金を交付する。	業務の流れ	・補助金申請書の受付 → 審査 → 補助金交付決定通知 → 補助金前金払い申請書の受付 → 審査 → 補助金前金払決定 → 実績報告書受付 → 審査 → 補助金交付確定通知 ・支出事務
------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段 29年度実績(29年度に行った主な活動)

単位老人クラブ39団体に2,519,000円、市老人クラブ連合会に1,411,000円を補助金として交付した。

名称	単位
(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(数字は記入しない)

ア 単位老人クラブへの補助金	千円
イ 老人クラブ連合会への補助金	千円
ウ	

30年度計画(30年度に計画している主な活動)

前年度同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

単位老人クラブ、市老人クラブ連合会

(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
ア 単位老人クラブ数	団体
イ 老人クラブ連合会数	団体
ウ	

③ 意図(この事業によって(対象)がどのような状態になるのか)

老人クラブに加入している高齢者が相互の融和と親睦を図ることができる。

(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
ア 老人クラブ会員数	人
イ	
ウ	

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)

障害者、高齢者(65歳以上)、生活困窮者等、支援を必要とする方々が、地域社会の中で、その人らしく生活できるように地域全体で支え合う。

(8) 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)	
ア 生きがいを感じる社会参画を行っている高齢者の割合	%
イ 高齢者団体に参加している人	人
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	全体計画 ~ 年度
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(目標・予算)	(目標・予算)	
		国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円							
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	振興計画目標数値
		延べ業務時間	時間	44	52	78	60	60	60	
		人件費計(B)	千円	167	198	296	228	228	228	
		(A) + (B)	千円	167	198	296	228	228	228	
	活動指標	ア 千円		2,665	2,583	2,519	2,740	2,740	2,740	年度
		イ 千円		1,411	1,411	1,411	1,411	1,411	1,411	
	対象指標	ア 団体		40	40	39	40	40	40	
		イ 団体		1	1	1	1	1	1	
	成果指標	ア 人		1,807	1,734	1,665	1,900	1,900	1,900	
	上位成果指標	ア %		未把握	未把握	未把握				
		イ 人		未把握	未把握	未把握				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和63年から県が市町村が行う老人クラブ育成事業に対し補助金を交付することに伴い、合併前から継続している事業である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	クラブ数、会員数とも年々減少している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	会員数の満たない老人クラブ(30名未満)については、補助金の適用を受けることができないため、市単独で補助金を交付することができないかとの要望がある。

2 評価の部(SEE) ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 高齢者が生き生きと安心して暮らすことができ、福祉の増進を図ることができるため、市の施策体系に直接結びついている事業である。	担当者による 評価  目的妥当性																							
	② 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 老人福祉法第13条第2項で、「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない」となっており、行政関与は妥当である。																								
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は市内の高齢者で、近隣の老人クラブに加入することができるため、妥当である。																								
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がある【↓ 理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在、高齢者数は横ばい、若しくは微減であるため、老人クラブの会員数もそれに伴い減少傾向にある。現在の老人クラブ数を維持することが限度で、向上余地はないと考えられる。	有効性																							
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【↓ その内容】 <input type="checkbox"/> 影響無【↓ 理由】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 会員数も多く、この事業が廃止・休止されれば地域で相互の融和や交流が図られなくなるため影響は大きい。	3																							
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がある【↓ 具体的な手段】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携により、成果の向上が期待できるか？ 他に手段がある場合のみ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 既に連携しており、これ以上連携する余地はない【↓ 連携の現状】																								
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 単位老人クラブについては、ほぼ財源の半分が市の補助金で、残りが会費となっている状況で繰越金額も少ない状況であるため、補助金の削減余地は無い。	効率性																							
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【↓ 理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【↓ 理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？ 市では補助金申請事務を行う以外に、各単位老人クラブからの要望があれば研修でのマイクロバスの利用許可(それに伴う随行)を行っており、老人クラブ数も多く、業務時間が増大する。他の自治体では、社会福祉協議会に委託しているところもあるため、今後、検討していくことも考えられる。	3																							
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【↓ 理由】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 高齢者の生きがい活動の場を確保することを目的としているため、市民に対して公平・公正である。	公平性																							
	⑩ アクションプランとの関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する項目はない <input type="checkbox"/> 関連する項目がある【↓ 改革項目名】 アクションプランに掲げた改革項目に基づき事業の内容を見直し余地がないか？ 関連する項目がある場合 <input type="checkbox"/> 適切である【↓ 内容】 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【↓ 内容】	3																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⑤ 改革プランとの関連性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		高齢者の地域での交流を図り、健康増進に大きく寄与していると思われるが、単位老人クラブごとに研修等の随行を行うことで人件費がかさんでいる状況である。																								
(3) 今後の事業の方向性 ……複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)      改革改善案 → <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)      改革改善案 → 外部(社会福祉協議会)へ事務委託することにより、業務時間の縮小が図られる。 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)      改革改善案 → <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通り)																										
(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)		(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持	○		×																						
	低下		×	×																						

アクション プラン	⑤ 非常に高い ④ 高い ③ 標準 ② やや低い ① 低い
--------------	-------------------------------------------